

葵ホール株式会社環境経営レポート

2023年度

(対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日)



目 次

1. 組織の概要、対象範囲	1頁
2. 実施体制	2頁
3. 環境経営方針	3頁
4. 環境経営目標	4頁
5. 環境経営計画	5頁
6. 環境経営目標の実績	6頁
7. 1環境経営計画に基づき実施した取組内容	7頁
7. 2環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7頁
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	8頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9頁
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	10頁

発行 2024年4月4日

1. 組織の概要、対象範囲

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

葵ロール株式会社

代表取締役 泉 健二

2) 所在地

本 社 神奈川県伊勢原市鈴川29番地

3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

責任者兼担当 取締役 黒田 悠

TEL: 0463-97-3711

E-MAIL: y-kuroda@aoi-roll.co.jp

4) 事業活動内容

住宅・非住宅向け金属製品の製造販売

5) 事業の規模

事業年度期間: 4月～3月

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	803	890	976
従業員	人	48	49	49
延べ床面積	m ²	1,825	1,825	1,825

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

1) 対象組織 「1. 2)所在地」欄に記載

2) 活動 「1. 4)事業活動内容」欄に記載

3) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

2. 実施体制

環境経営システム実施体制図



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する。 ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括 ・環境管理責任者の補佐 ・取り組み内容を率先して取り組む ・現場を統括してデーターを収集する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規の取りまとめ表の維持管理・遵守徹底 ・環境関連文書および記録の作成・整理・保管 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
安全衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

3. 環境経営方針

環境経営方針

[基本理念]

「はじめは我が為に、やがては社会公共の為に」 常にお客様から信頼され続ける企業でありたいと考え事業を展開、私たちが使用する原材料の多くは大地と自然から傍受しておりその豊かな自然を次世代へ継承する責任がある、その責任を果たすために地球に与える環境負荷の軽減、継続的な環境保全活動に積極的に取り組みます。

[環境経営方針]

基本理念に基づき、以下の環境経営方針を定め、環境負荷低減に向けて積極的に取り組みます。

1. 常に環境への負荷を意識し、適正な処理を行います。
2. 事業所から発生する二酸化炭素・廃棄物・排水量・化学物質の削減に全員で取り組みます。
3. 自らの製造する製品及び提供するサービスで不良件数の削減に取り組みます。
4. 更なる省力化・省人化に取り組みます。
5. 生産効率をアップさせ工数削減に取り組みます。
6. 事業活動に関わる全ての環境関連の法令に遵守します。
7. 環境経営方針は、全員に周知するとともに、環境経営リポートにより公表します。
8. 環境経営を推進するとともに、定期的な見直しを行い継続的改善に努めます。

制定 2022年7月1日

葵 ロール 株式会社

代表取締役 泉 健二

4.環境経営目標

地球温暖化防止が最たる目的において本来総量目標の達成を目指すべきであるが、受注量の増加により目標達成が困難であるという状況を踏まえ2023年度より売上1円あたりにおけるエネルギー使用量の指標を用い原単位目標を導入。期首売上目標の対前年度比に対して▲0.5%のエネルギー削減目標を織り込む。コロナ禍によりパブリック物件の受注の波が激しいことからも年間売上伸長率は都度更新が必要だが、3カ年計画上では5%の伸長とする。

No	環境経営 方針項目など	環境経営 目標項目	基準値 (2022年度)	CO2 換算係数		年度目標			
						2023年度	2024年度	2025年度	
	原単位指標	売上高（万円）	88,979			90,488 101.7%	95,012 105.0%	99,763 105.0%	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量	0.546					
			256,578	東電 kWh/12カ月	原単位目標	2.87	2.85	2.84	
			kWh/12カ月		総量目標	259,635	271,254	283,392	
		化石燃料使用量の削減 ガソリン： ガリソン： バネト・乗用車 軽油：トラック	ガソリン使用量	2.300					
			3,530	L/12カ月	原単位目標	0.03947	0.03927	0.03908	
			L/12カ月		総量目標	3,572	3,732	3,899	
		CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)	軽油使用量	2.580					
			2,981	L/12カ月	原単位目標	0.03333	0.03317	0.03300	
			L/12カ月		総量目標	3,016	3,151	3,292	
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	155,900 kg-CO ₂ /年			157,758 kg-CO ₂ /年以下	164,817 kg-CO ₂ /年以下	172,193 kg-CO ₂ /年以下	
		CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /万円)	1.752 kg-CO ₂ /万円			1.744 kg-CO ₂ /万円以下	1.735 kg-CO ₂ /万円以下	1.726 kg-CO ₂ /万円以下	
2	廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量 の削減	廃棄物排出量(一般)						
			730	kg/12カ月	原単位目標	0.00816	0.00812	0.00808	
			kg/12カ月		総量目標	739	772	806	
		産業廃棄物排出量 の削減	廃棄物排出量(産廃)						
			39,503	kg/12カ月	原単位目標	0.44176	0.43955	0.43735	
			kg/12カ月		総量目標	39,974	41,763	43,631	
3	水使用量削減		水道使用量						
			224	m ³ /12カ月	原単位目標	0.00250	0.00249	0.00248	
			m ³ /12カ月		総量目標	227	237	247	
4	化学物質使用量維持管理		化学物質使用量						
			63.9	kg/12カ月	原単位目標	0.0007146	0.0007146	0.0007146	
			kg/12カ月		総量目標	65	68	71	
5	作業改善活動	・作業性向上 ・5S	作業改善活動			毎年5件以上	毎年5件以上	毎年5件以上	
			5	件/年		5	5	5	
			件/年						

※各総量目標は、使用量×売上伸長×0.5%削減

5. 環境経営計画

2023年度 環境経営計画

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段			責任部門 責任者	スケジュール 2023年4月～2024年3月		
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 消灯の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1F、4F事務所 ・ 作業場昼休憩時 ・ 作業場不使用箇所の部分消灯 ・ 事務所、会議室、応接不使用時消灯 ・ トイレ、手洗い場消灯 ● 空調 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季、冬季基準温度厳守 ・ 空調機フィルター定期清掃（1回 / 3カ月毎） ● 紙の印刷枚数、使用枚数削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 裏紙使用の推奨 ・ ペーパーレス化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査表の紙からデジタルへの移行 ・ 作業手順書の紙からデジタルへの移行 ● 生産部年度活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産性向上 ・ 客先クレーム0 ・ 工程内クレームの低減 			各部署職制	期首からスタート 年間を通して実行		
			<ul style="list-style-type: none"> ● 運送の効率化、エコドライブ10の実行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外注、営業時まとめ訪問、効率ルート ・ エコドライブ10を意識した運転 						
			<ul style="list-style-type: none"> ● 自社配送の外注化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 客先納入便の外注化 						
			<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス化活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査表の紙からデジタルへの移行 ・ 作業手順書の紙からデジタルへの移行 ・ 事務所、工場内一般ごみ削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般ごみ対象、ルール再徹底 						
			<ul style="list-style-type: none"> ● 産業廃棄物排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用可能材料の有効活用 ・ 客先クレーム、工程内不具合低減による再製作低減 						
			<ul style="list-style-type: none"> ● 節水意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ1度流しの推奨 ・ 出したら止める 						
2	水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ● 客先指定品の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適正使用 			各部署職制	期首からスタート 年間を通して実行		
3	化学物質使用量の維持管理		<ul style="list-style-type: none"> ● 小グループ単位での改善活動の実行 			生産部製造課 購買課	期首からスタート 年間を通して実行		
4	作業効率改善		<ul style="list-style-type: none"> ● 小グループ単位での改善活動の実行 			改善活動事務局	期首からスタート 年間を通して実行		
その他	避難訓練の実施		避難訓練	年2回の実施	EA21環境管理 責任者	年2回の実施 交付対応 簡易点検（1回 / 3カ月） 計画・設置・運用			
	登録審査時是正項目への対応		(1)産業廃棄物管理票(マニフェスト) (2)コンプレッサ(コベルコ Vs660AD) (3)少量危険物倉庫の設置						

6.環境経営目標の実績

2023年度

環境経営目標の実績

No	環境経営 方針項目	環境経営 目標項目	基準値 (2022年度)	CO2 換算係数	運用期間(2023年4月～2024年3月)			
					目標	実績	評価	
	原単位指標	売上高(万円)	88,979		90,488	97,541		
1	二酸化炭素排出量 の削減	電力使用量の削 減	電力使用量	0.546				
			256,578	東電	2.87	2.85	○	
			kWh/12カ月		259,635	277,890		
		化石燃料使用量 の削減 ガソリン： バギー・乗用車	ガソリン使用量	2.300				
			3,530	原単位	0.03947	0.03417	○	
			L/12カ月		3,572	3,333		
		軽油使用量 軽油：トラック	軽油使用量	2.580				
			2,981	原単位	0.03333	0.01492	○	
			L/12カ月		3,016	1,455		
		CO2総量計 (kg-CO2)	155,900		157,758	163,147	—	
			kg-CO2/年		kg-CO2/年以下	kg-CO2/年以下		
2	廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出 量の削減	廃棄物排出量(一般)					
			730	原単位	0.00816	0.00863	×	
			kg/12カ月		739	842		
		産業廃棄物排出 量の削減	廃棄物排出量(産廃)					
			39,503	原単位	0.44176	0.42203	○	
			kg/12カ月		39,974	41,165		
3	水使用量削減		水道使用量 m³/12カ月					
			224	原単位	0.00250	0.00230	○	
			m³/12カ月		227	224		
4	化学物質使用量維持管理		化学物質使用量 kg/12カ月					
			63.9	原単位	0.0007146	0.0001845	○	
			kg/12カ月		65	18		
5	作業改善活動	・作業性向上	作業改善活動		毎年5件以上	毎年5件以上		
		・5S	5 件/年		5	5	○	

※原単位目標に対して実績が下回れば目標達成と判断し「○」評価。上回れば未達成と判断し「×」評価とする。

※各総量目標は、使用量×売上伸長×0.5%削減

7.1 環境経営計画に基づき実施した取組内容

7.2 環境経営計画の取組結果とその結果と評価及び次年度の取組内容

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目		目標達成手段	実施した取り組み内容	評価		コメント及び次年度の取り組み内容	
						個別実行評価	数値評価		
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減		●消灯の徹底	・1F、4F事務所 ・作業場昼休憩時 ・作業場不使用箇所の部分消灯 ・事務所・会議室 応接不使用時消灯 ・トイレ、手洗い場消灯	・毎週金曜日現場、 事務所バトロール →気づいた点朝礼 でアナウンス	△	使用後、電気の消し忘れあり 継続して伝えていく必要あり	
				●空調	・夏季、冬季基準温度厳守 ・空調機フィルター定期清掃 (1回 / 3ヶ月毎)	・総務にて清掃実行	○	総務担当にて年間通して実行した来年度継続	
				●紙の印刷枚数、 使用枚数削減	・裏紙使用の推奨 ・ペーパーレス化活動 ・検査表の紙からデジタルへの移行 ・作業手順書の紙からデジタルへの移行	・検査表、作業手順書のデジタル化完了 & 運用が開始された	○	検査表、作業手順書のデジタル化が実行、運用開始された対象品目の拡大	
				●生産部年度活動	・生産性向上 ・客先クレーム0 ・工程内クレームの低減	・生産部年度計画に基づき各種実行	×	客先クレームが発生したクレーム撲滅のための施策を来年度生産部計画に盛り込む	
	2)化石燃料使用量の削減	ガソリン		●運送の効率化、 エコドライブ10の実行	・外注、営業時まとめ訪問、効率ルート ・エコドライブ10を意識した運転	・営業、物流にて複数箇所へのまとめ訪問を実行	○	エコドライブ10の注意事項を口頭で説明しただけであった。いつでも見れるよう注意事項リストをパワチして運転開始前に見るようにする	
				●自社配送の外注化	・客先納入便の外注化	・2023年6月から実行開始	○	外注化が開始された来年度継続	
	CO2総量計 (kg-CO2)				163,147	上記活動の実行	-	原単位目標の達成がなされた	
	CO2原単位 (kg-CO2/万円)				1.673	上記活動の実行	○		
2	廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物排出量の削減		●紙の使用枚数削減	・ペーパーレス化活動 ・検査表の紙からデジタルへの移行 ・作業手順書の紙からデジタルへの移行	・検査表、作業手順書のデジタル化完了 & 運用が開始された	○	計画した活動を実行したが数値目標は未達となった。ゴミの量を見る化し、数値目標を達成するための計画策定を行う	
				●事務所、工場内一般ごみ削減	・一般ごみ対象、ルール再徹底	・周知を行った	○		
	2)産業廃棄物排出量の削減			●使用可能材料の有効活用	・工場内倉庫、テント倉庫の5S ・棚卸しの徹底	・生産部年度計画に基づき各種実行	△	5S、棚卸し精度共に要改善、来年度生産部計画に盛り込む	
				●客先クレーム、工程内不具合低減	・客先クレーム、工程内不具合低減による再製作低減	・生産部年度計画に基づき各種実行	×	客先クレームが発生したクレーム撲滅のための施策を来年度生産部計画に盛り込む	
3	水使用量の削減			●節水意識の向上	・トイレ1度流しの推奨 ・出したら止める	・周知を行った	○	周知を行った継続して周知していく	
4	化学物質使用量の維持管理			●客先指定品の適正管理 ・適正使用	化学物質については顧客の指定品の為当社では安全について管理の元を使用する	・少量危険物倉庫含め 適正管理の元を使用した	-	-	
5	作業効率改善			●小グループ単位での改善活動の実行		・毎年度通り各グループより多数の案件が提案され、一押し提案が実行された	○	継続実行	
その他		避難訓練の実施		避難訓練	年2回の実施	・避難訓練を実施した	○	継続実行	
		登録審査時是正項目への対応		(1)産業廃棄物管理票(エコサット) 交付への対応		2021年度分 : 2023年3月2日提出 2022年度分 : 2023年6月提出 2023年度分 : 2024年6月提出	○	今年度取り決めた内容の継続順守	
				(2)コンプレッサ(コベルコ Vs660AD) 簡易点検(1回/3ヶ月)の実行		1) 簡易点検口記録表整備 2) 作業者教育実行 3) 初回5月から以降3ヶ月毎に実行中	○		
				(3)少量危険物倉庫の設置		1) 8月 : 設定 & 消防届出 2) 9月~11月 : マニュアル、教育実施、運用開始	○		

8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

2024年度 エコアクション21活動を定着させ、2023年度に継続し、原単位目標の達成を目指す

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段		責任部門 責任者	スケジュール (2023年4月～2024年3月)	
1	二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減 (原単位) 2.85 (総量) 271,254 kWh	<ul style="list-style-type: none"> ●消灯の徹底 ●空調 ●紙の印刷枚数、使用枚数削減 ●生産部年度活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・1F、4F事務所 ・作業場昼休憩時 ・作業場不使用箇所の部分消灯 ・事務所、会議室、応接不使用時消灯 ・トイレ、手洗い場消灯 ・(新)PCモニターシヤットダウン徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季、冬季基準温度厳守 ・空調機フィルター定期清掃 (1回 / 3カ月毎) <ul style="list-style-type: none"> ・裏紙使用の推奨 ・ペーパーレス化活動の発展 <ul style="list-style-type: none"> ・検査表の紙からデジタルへの移行 ・作業手順書の紙からデジタルへの移行 <ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上 ・客先クレーム0 ・工程内クレームの低減 ・工程内パトロールに重きを置いた活動 		各部署職制	目標達成手段の実行 →	
				<ul style="list-style-type: none"> ・外注、営業時まとめ訪問、効率ルート ・エコドライブ10を意識した運転 			目標達成手段の実行 →	
				<ul style="list-style-type: none"> ・自社配送の外注化 			目標達成手段の実行 →	
				<ul style="list-style-type: none"> ・客先納入便の外注化の継続実行 			目標達成手段の実行 →	
							目標達成手段の実行 →	
							目標達成手段の実行 →	
							目標達成手段の実行 →	
							目標達成手段の実行 →	
							目標達成手段の実行 →	
							目標達成手段の実行 →	
2	廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物排出量の削減 0.00812 772kg	<ul style="list-style-type: none"> ●紙の使用枚数削減 ●事務所、工場内一般ごみ削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化活動の発展 <ul style="list-style-type: none"> ・検査表の紙からデジタルへの移行 ・作業手順書の紙からデジタルへの移行 ・一般ごみ対象、ルール再徹底 ゴミ量の可視化 		各部署職制	目標達成手段の実行 →	
2)産業廃棄物排出量の削減 0.43955 41,763kg	<ul style="list-style-type: none"> ●使用可能材料の有効活用 ●客先クレーム、工程内不具合低減 			目標達成手段の実行 →				
<ul style="list-style-type: none"> ・工場内倉庫、テント倉庫の5Sの継続 ・棚卸しの精度向上 				目標達成手段の実行 →				
3	水使用量の削減	0.00249 237m³	●節水意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ1度流しの推奨 ・出したら止める 		改善活動事務局	目標達成手段の実行 →	
4	化学物質使用量の維持管理	0.0007146 68kg	●客先指定品の適正管理 ・適正使用	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質については顧客の指定品の為 当社では安全について管理の元使用する 			目標達成手段の実行 →	
5	作業効率改善	5件	●小グループ単位での改善活動の実行			改善活動事務局	目標達成手段の実行 →	
その他		避難訓練の実施	避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の実施 		EA21環境管理 責任者	目標達成手段の実行 →	
		登録審査時見正 項目への対応	(1)産業廃棄物管理票(マニピュレーター) 交付への対応				維持順守	
		(2)コンプレッサ(コベルコ Vs660AD) 簡易点検(1回/3カ月)の実行						
		(3)少量危険物倉庫の設置						

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

I 遵守義務のある法規関係

区分	環境関連法規等名称	遵守状況の確認・評価	
		チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）（一般廃棄物の処理）	2023.7.19	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）（産業廃棄物の適正処理）	2023.7.19	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	2023.7.19	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	2023.7.19	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	2023.7.19	○
大気汚染	フロン排出抑制法	2023.7.19	○
消防	消防法（危険物関連）	2023.7.19	○
労働安全	特定化学物質障害予防規則	2023.7.19	○
	有機溶剤中毒予防規則	2023.7.19	○

当社に関する環境関連法規等は上記の通りですが、遵守状況を2023年7月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去2年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し

結果報告書

見直し実施日	2024年4月4日 (■定期見直し □臨時見直し)			
見直し対象期間	2023年4月1日～2024年3月31日			
出席者	泉 黒田	場所	本社 会議室	
前回の見直し記録より指示への取組結果	登録審査、中間審査指摘事項共に是正			
見直しに必要な情報	4.環境経営目標(登録時) 5.環境経営計画 6.環境経営目標の実績 7-1.2環境経営計画の取り組み内容及び評価次 8.次年度の環境経営目標と環境経営計画			
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、③等を踏まえて評価) 認証取得後、年間通しての初運用。従業員に周知徹底され、この重要性を理解し取り組まれているか、まだまだ不十分なところはあるが、キックオフでエコアクションの認証取得すると宣言後、少しづつ従業員のエコに対する『意識』が芽生え始めている。			
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】 (②等を踏まえて評価)			
	目標項目	実行評価	数値評価	目標・経営計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	二酸化炭素排出の削減	○	○	あくまで原単位目標に対しての目標達成に留まる。総量の削減が必要だが、まずは原単位目標での運用を見守る
	廃棄物排出量の削減	(△)	×	未達成となった。ゴミ量の可視化をまず行い、数値目標達成に必要な計画を立て、活動を行う
	水使用量の削減	○	○	あくまで原単位目標に対しての目標達成に留まる。総量の削減が必要だが、まずは原単位目標での運用を見守る
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	化学物質使用量の管理	○	○	あくまで原単位目標に対しての目標達成に留まる。総量の削減が必要だが、まずは原単位目標での運用を見守る
	作業効率の改善	○	○	気づき提案活動、作業改善活動を今後も継続し、収益改善に結びつくよう見守る
	【環境経営方針】 変更の必要性 : □有 ■無 現在の環境経営方針を維持する。			
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : □有 ■無 現在の環境経営目標及び環境経営計画を維持する。			
	【実施体制】 変更の必要性 : □有 ■無 現在の実施体制を維持する。			
【環境経営システム】 変更の必要性 : □有 ■無 現在の環境経営システムを維持する。				
【総括】 (環境活動レポートに転記) 当社は環境に係る認証取得は初めての試み。認証取得後初めての年間活動とはいえ電気使用量・化石燃料使用量、産業廃棄物排出量等、各項目の数値化によって、より従業員の意識が変化していくものと思われる。今後はトップダウンでエコアクション21を展開していくのではなく、事務局・部門管理者が中心となって従業員の意見・提案を積極的に取り入れ広範囲に改善していく。				

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時にすること。

②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。

③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。